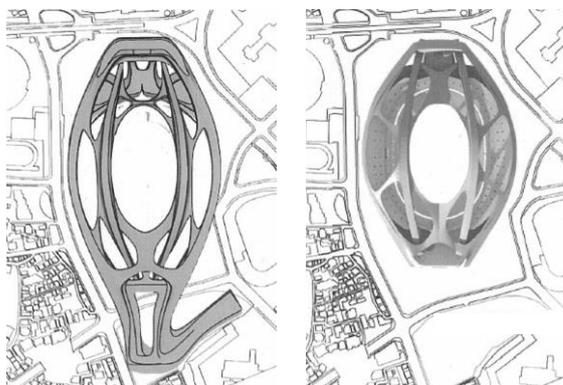


新国立競技場の整備について

1 経緯

- 2011. 2. 15 ラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟総会にて国立霞ヶ丘競技場再整備に向けた決議（8万人規模で建替え）
- 2011. 9. 29 東京都議会第三回定例会にてオリンピックスタジアムとすることを表明（国の建替え方針を受け）
- 2012. 3. 6 日本スポーツ振興センターによる国立競技場将来構想有識者会議（第1回）開催
- 2012. 7. 20 日本スポーツ振興センターによる「新国立競技場基本構想国際デザイン競技」を発表
- 2012. 11. 15 「新国立競技場基本構想国際デザイン競技」最優秀賞決定
- 2013. 9. 7 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市決定
- 2013. 11. 26 国立競技場将来構想有識者会議（第4回）にて基本設計条件（案）提示

2 修正基本設計条件（案）（国立競技場将来構想有識者会議資料より）



【コンペ案(2013年3月)】

【現在案】

①収容人数	8万人（変更なし）
②施設規模	約29万㎡（コンペ時） 約22万㎡（現在）
③建設費	本体 1,480億円 （解体費含む） 周辺整備 372億円